



つながり

きていく中で常について回る問題ではないかと思います。

私はその壁を乗り越えていくパワーの源は、吹奏楽を通してたくさんの人とぶつかり合い、悩み、つながり合った経験にあると感じています。あの時期、勉強やアルバイトだけでなくサークル活動に本気で取り組んだ経験。学生時代の思い出という枠を越え、自分が予想していた以上に大きな宝になりました。

最後に一言。創部初の女性指揮者、という看板を背負っての活動は、決して楽なものではありませんでした。たくさんの仲間や諸先輩方の力があってこそ乗り越えることができました。そして、あれからもう10年近くたちますが、時が経つほどに当時出会った人たちへの感謝の気持ちが膨らむのです。不思議なものですね。

大 学では、吹奏楽部には入らない。高校時代、全国大会を目指して部活動に燃えていた私は、吹奏楽をやり尽くしたような気になり、そう決めていました。しかし、気付けば吹奏楽部に入り、やめるにやめられなくなり、最終的にはその活動にどっぷりはまった4年間。

よりよい活動を求めて、本気でぶつかり合う。青臭いとかバカバカしいと言われるかもしれませんが、でも、大人でもなく子どもでもない中途半端な学生時代だからこそ、一層熱くなれるのです。そして、熱くなるからこそいつまでも心に残るのだと思います。



私は今、小学校に勤めています。いつもぶち当たる壁は「つながり」。子どもと子ども、子どもたちと自分、同僚や先輩方と自分…人と人とがどんなふうに結びついていったらよいか。これは、仕事に限らず、生



所属サークル



吹奏楽部

仙台市立北仙台小学校教諭

佐藤 章子

Akiko Sato

平成12年度
生涯教育総合課程
文化環境コース芸術文化専攻 卒業